

第89期 営業の中間ご報告

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで

ミニディスクロージャー誌

地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行



あなたのまちの

筑邦銀行

地域に根差し お客さまに選ばれ続ける銀行

皆さまには、平素より筑邦銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

さて、当中間期のわが国経済は、東日本大震災の復興需要やエコカー補助金などの政策効果を背景に個人消費や生産に持ち直しの動きが見られ、全体としては緩やかな回復の動きが続きました。しかしながら、雇用情勢は依然として厳しく、物価動向はデフレ状況が続いているほか、欧州債務問題や世界経済の下振れ懸念など景気の先行きを巡る不透明感が強まりました。

こうしたなか、当行は本年4月より3カ年の「中期経営計画2012」をスタートさせました。「中期経営計画2012」では“地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行”を「目指すべき姿」として継承し、「人間力の育成」・「経営課題対応力の強化」・「現場実践力の向上」の3つの基本方針も前計画から引き継ぎます。すべての役職員が複眼的視野を持ち、お客さまに対して、或いは日々の仕事について「提案力」を発揮し基本方針に基づく諸施策を実践してまいります。

当行はお客さま、株主、地域社会の皆さまの永年に亘るご支援により本年12月に創立60周年、来年2月に開業60周年を迎えます。これからも地域の銀行として、皆さまのご期待にお応えすべく、堅実経営を堅持し、地域密着型金融を推進してまいります。

今後ともなお一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成24年12月



頭取 佐藤 清一郎

目次

ごあいさつ	1	トピックス	13
経営方針	2	お客さまへの大切なお知らせ	14
決算の概況	3	財務のご報告(連結)	15
当行の健全性	5	財務のご報告(単体)	16
地域経済・地域社会への貢献	7	役員/株式の状況	17
皆さまのお取引状況	7	株式のご案内	18
地域金融機関としての役割	9	店舗・ATMのご案内	裏表紙
地域への各種支援活動の状況	10		
商品/サービスのご案内	11		
法人のお客さま	11		
個人のお客さま	12		

筑邦銀行のプロフィール (平成24年9月30日現在)

設立	昭和27年12月23日
総資産	6,682億円
預金・譲渡性預金	6,056億円
貸出金	3,903億円
資本金	80億円
株主数	2,918名
従業員数	654名
店舗数	43か店

基本理念

「地域社会へのご奉仕」

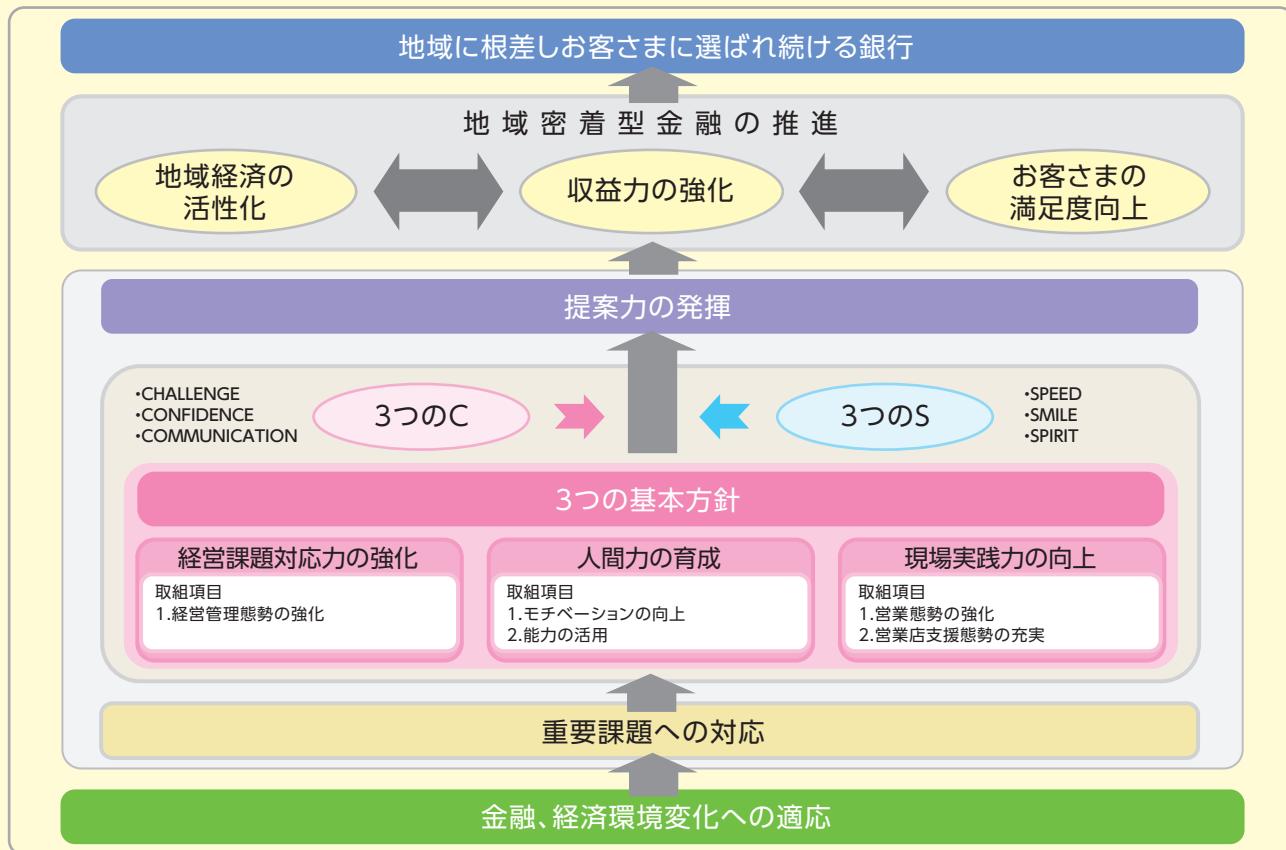
当行は、昭和27年の創立以来、一貫して「地域社会へのご奉仕」という基本理念のもと、地元のお役に立つことが何にもまして重要な社会的使命と考え、地域の発展とともに今日の基盤を築いてまいりました。今後も地域の銀行として、この経営方針を堅持してまいります。

中期経営計画2012

(対象期間2012年4月～2015年3月)

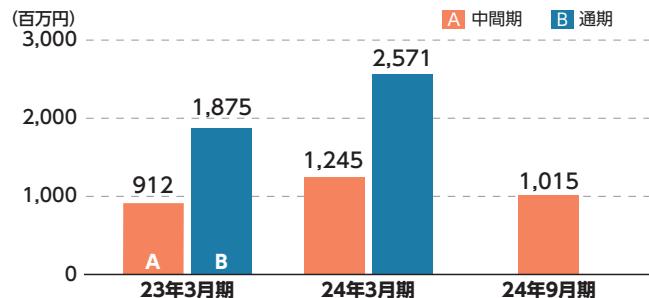
目指すべき姿…「地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行」

「中期経営計画2012」の全体スキーム

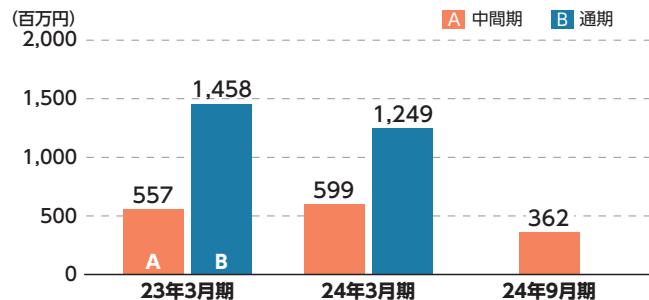


収益の状況

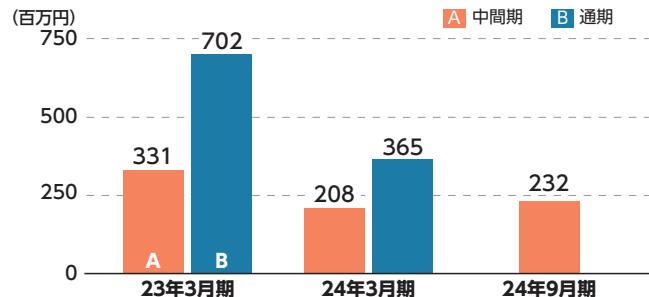
業務純益(単体)



経常利益(単体)



中間(当期)純利益(単体)



用語解説

- 1.業務純益とは 銀行の利益を見るうえでの重要な指標で、預金・貸出金等銀行本来の業務から生まれた利益。一般企業の「営業利益」に相当します。
- 2.経常利益とは 業務純益に貸出金償却等の臨時損益を加減算したものです。
- 3.当期純利益とは 経常利益に特別損益と税金等を加減算したもので、銀行が事業年度中に得た最終利益です。

業務純益

業務純益は、国債等債券の売却益が増加したものの、貸出金利回りの低下により資金運用収益が減少したことに加えて、国債等債券の損失が増加したこと等から、前年同期比2億30百万円減益の10億15百万円となりました。

経常利益

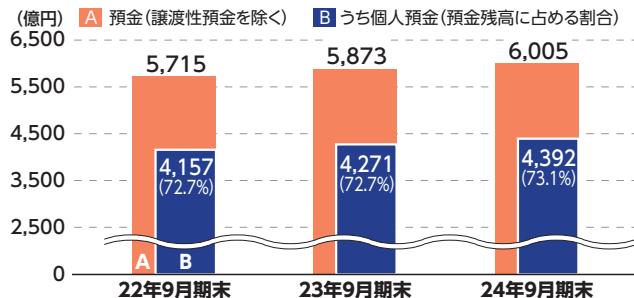
経常利益は、業務純益が減益となったことに加えて、不良債権処理額が増加したこと等から、前年同期比2億37百万円減益の3億62百万円となりました。

中間(当期)純利益

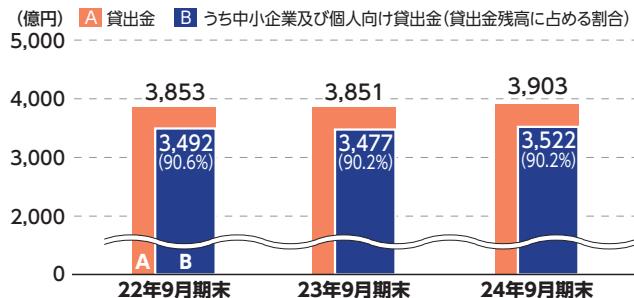
中間純利益は、前年同期の特別損失に固定資産処分損を計上していたこともあり、前年同期比24百万円増益の2億32百万円となりました。

預金、貸出金、有価証券の状況

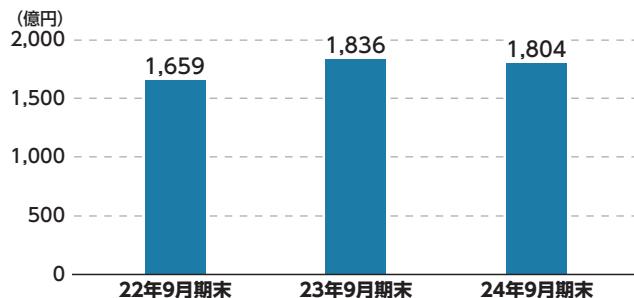
預金残高の推移(単体)



貸出金残高の推移(単体)



有価証券残高の推移(単体)



預金

預金は、資金調達のコアとなる個人預金が増加したことに加えて、法人預金も増加したことから前年同期末比131億円増加の6,005億円となりました。

貸出金

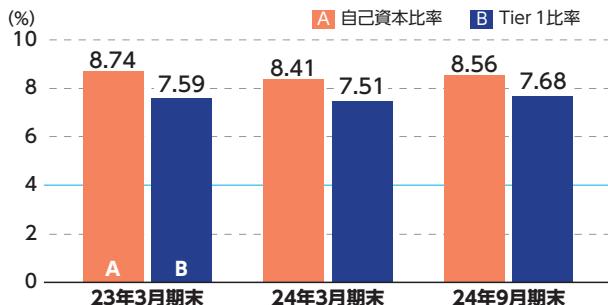
貸出金は、地元の個人事業主や中小・中堅企業を中心とした取引の拡大、住宅ローンをはじめとした個人のお客さまの資金ニーズに対する積極的な営業活動により、前年同期末比51億円増加の3,903億円となりました。

有価証券

有価証券は、引き続き資金調達が好調であったため、国債等の債券を中心に投資を行いました。前年同期末比31億円減少の1,804億円となりました。

自己資本比率 **8.56%** 国内基準（4%以上）を大きく上回っています。

自己資本比率・Tier 1比率(単体)



平成24年9月期末の自己資本比率は、平成24年3月期末比0.15ポイント上昇の8.56%となり、最低所要自己資本比率（国内基準）の4%を十分に上回る水準を維持しています。また、自己資本の質を見る上で特に重要だといわれているTier1比率（中核的自己資本比率）も7.68%と十分な水準にあります。

用語解説

- 1.自己資本比率とは** 銀行の貸出等のリスク資産等（リスク・アセット等）に対する自己資本額の割合です。一般的にこの比率が高いほどリスク等に対する備えが充実していることを示すため、銀行の健全性を表す重要指標の一つになっています。なお、当行のように海外に営業拠点を持たない銀行は、国内基準（4%）を維持することが義務づけられています。
- 2.Tier1比率とは** 資本金や利益剰余金などの基本的項目（Tier1）のみから算出される自己資本比率です。

格付け **A-** 安全性について高い評価を受けています。

当行は、格付けについて公正で権威ある日本格付研究所からA-格付けを取得しており、安全性について高い評価を受けております。（平成24年4月16日現在）

用語解説

- 格付けとは** 一般的に企業が発行する債券や銀行預金の元金・利息支払いの安全度を示す指標で、このランクが上位に位置するほど安全性が高いとされています。
 ※ A AからBまでの格付け記号には同一等級内での相対的位置を示すものとしてプラス（+）やマイナス（-）の符号による区分があり、一般的にBBB（-）以上が「投資適格等級」といわれています。

有価証券評価損益

有価証券(その他有価証券で時価のあるもの)の評価損益(単体)
 (単位:百万円)

平成24年9月30日	評価損益	評価益	評価損
株式	1,380	2,356	976
債券	467	589	122
外国証券	△594	93	688
その他	45	73	27
合計	1,298	3,112	1,814

有価証券評価損益（その他有価証券で時価のあるもの）は、評価益が31億12百万円、評価損が18億14百万円となり、評価益と評価損を通算した評価益は12億98百万円となりました。

用語解説

- 有価証券評価損益とは** 有価証券の簿価と基準日現在の時価等との差額を評価損益といい、この評価損益は、有価証券を時価で売却した場合に発生が見込まれる損益といえます。一般的には含み益や含み損といわれることもあります。

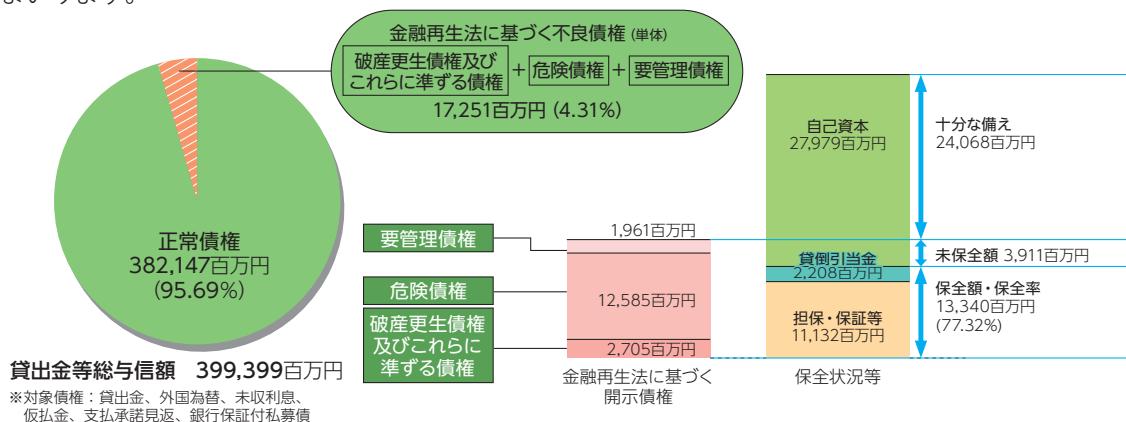
不良債権

4.31%

金融再生法に基づく貸出金等の総与信額3,993億99百万円のうち回収に懸念のない正常債権は3,821億47百万円であり、総与信額の95.69%を占めております。

一方、不良債権は172億51百万円（総与信の4.31%）となり、前年同期末の173億15百万円（総与信の4.39%）と比べ63百万円減少しました。また、この不良債権の77.32%（133億40百万円）は、担保・保証等や引当金で保全されています。残りの39億11百万円につきましては、お取引先の経営状態から直ちに引当を要するものではありませんが、仮に貸倒が発生した場合でも、当行の自己資本比率算定上の自己資本額（Tier1+Tier2）は279億79百万円あることから、引当について十分な備えがあります。このことから当行の財務内容の健全性をご理解いただけるものと存じます。

今後も皆さま方の資金需要にお応えしながらも、審査・信用リスク管理を徹底し、貸出債権等の健全性確保に努めてまいります。



●金融再生法開示債権の保全状況 (単体)

単位：百万円

平成24年9月30日	破産更生債権等	危険債権	要管理債権	合計
開示債権額 (A)	2,705	12,585	1,961	17,251
担保・保証等による保全額 (B)	2,253	8,205	673	11,132
対象債権に対する貸倒引当金 (C)	451	1,671	85	2,208
保全額 (D) = (B) + (C)	2,705	9,876	758	13,340
開示額に対する保全率 $\frac{(D)}{(A)}$	100.00%	78.47%	38.67%	77.32%
担保・保証等による保全がない額 (E) = (A) - (B)	451	4,379	1,288	6,119
引当率 $\frac{(C)}{(E)}$	100.00%	38.15%	6.62%	36.08%

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

用語解説

- 1.破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは
- 2.危険債権とは
- 3.要管理債権とは
- 4.正常債権とは

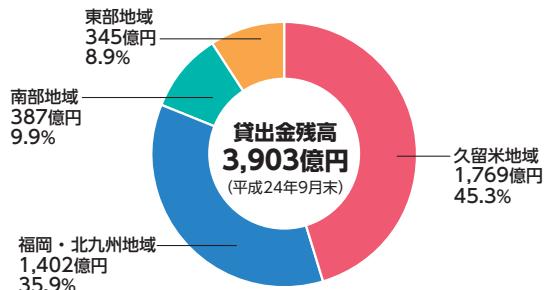
破産、会社更生、再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。

債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受け取りができない可能性の高い債権。3ヶ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記1.から3.までに掲げる債権以外のものに区分される債権。

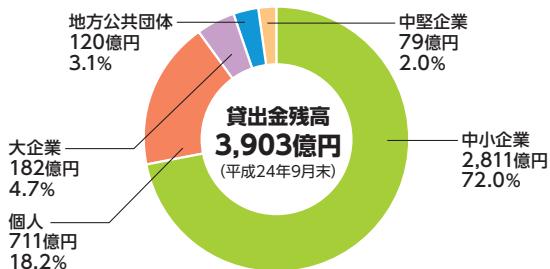
皆さまとお取引状況<融資>

地域別貸出金残高、構成比率



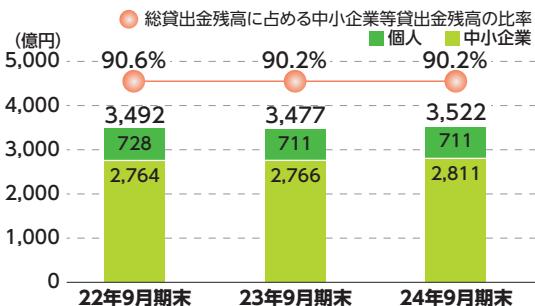
当行が地域のお客さまからお預かりした大切な預金は、そのほとんどを地域の企業や個人の方への貸出に向けており、「地域の資金は地域のために」という当行設立の趣旨を堅持し、地域金融機関の使命を果たしております。

中小企業等貸出金残高、構成比率



当行は創業時より地域の中小企業や個人の方を中心に貸出を行っております。今後もお客さまのニーズを的確につかみ、必要とされる資金・金融サービス・各種金融情報をタイムリーに提供してまいります。

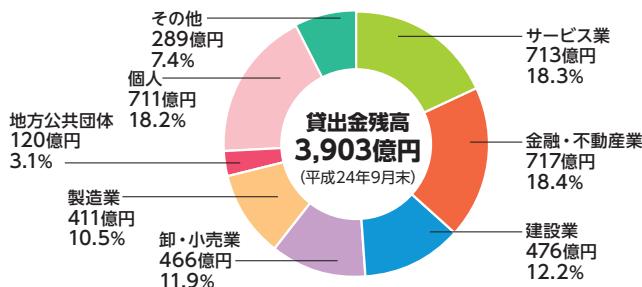
中小企業等貸出金残高、比率の推移



中小企業等貸出金残高、比率の推移

中小企業および個人の方に対する貸出金の残高は、前年同期末比45億円増加し、3,522億円となりました。総貸出金に占める中小企業等貸出金残高の割合は、90.2%（中小企業72.0%、個人18.2%）と引き続き高い割合を維持しております。

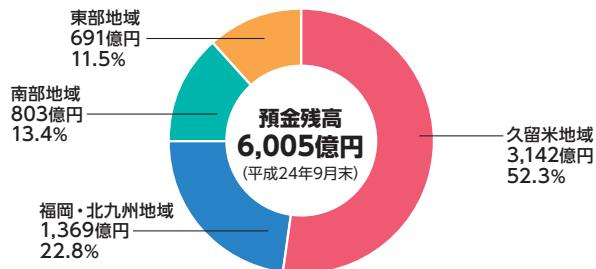
業種別貸出金残高、構成比率



当行貸出金の構成内容は特定の業種に偏ることなく幅広い業種へ分散した貸出を行っております。

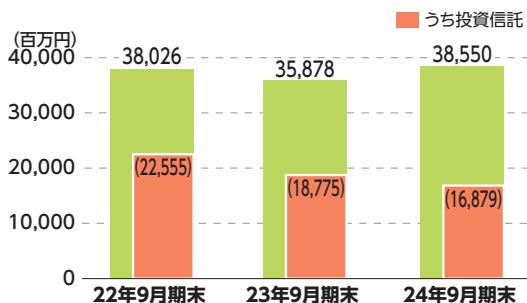
皆さまとお取引状況〈預金・預り資産〉

地域別預金残高、構成比率



当行は、地域に根差した金融機関として、設立以来地域の皆さまからのご信頼をいただき、預金は個人預金を中心に順調に増加しております。今後もお客様のニーズに対応した魅力ある金融商品の提供に努めてまいります。

個人預り資産残高の推移



個人預り資産残高

当行は、お客様の多様化する資金運用ニーズにお応えする投資信託や国債等を取扱っております。個人預り資産は前年同期末比26億72百万円増加して385億50百万円となりました。

※個人預り資産＝投資信託、生命保険、外貨預金、公共債の合計

地域金融機関としての役割

地元企業や個人事業主の皆さまの発展・育成を応援し、地域経済の活性化に貢献します。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業・新事業支援への取組み



第7回「ちくぜんバイオベンチャー研究開発大賞」表彰式

地元のバイオベンチャー企業を育成・支援するため、平成18年度に「ちくぜんバイオベンチャー研究開発大賞」を創設し、これまでに、事業の将来性・成長性等がある企業8社を表彰しております。また、平成24年9月に、九州の創業者を支援する「九州アントレプレナークラブファンド」への出資を行い、地域企業の創業・新事業展開を積極的に支援しております。

(2) 経営改善・事業再生支援への取組み

融資部内に経営サポート室を設置し、お客さまの業界動向や個々の企業の特性などを踏まえた経営改善・事業再生支援に取り組んでおります。

また事業再生および組織再編等を支援し、企業価値向上を図ることを主な目的とする地域特化型ファンド「九州BOLEROファンド」への出資を行っております。

(3) 金融円滑化への取組み

地域のお取引先企業や住宅ローンご利用のお客さまからの貸付条件の変更などのご相談やお申込については、状況を十分勘案した上で、可能な限りご要望に沿えるよう真摯に対応しております。また、営業店と融資部・融資部経営サポート室とが一体となって、お客さまの事業についての改善・再生支援や円滑な資金供給に積極的に取り組んでおります。平成25年3月に中小企業金融円滑化法は期限を迎えますが、今後も引き続き、取り組んでまいります。

(4) 事業承継支援への取組み

ソリューション事業部を中心に、後継者に対する株式移転等のプランニングに積極的に取り組むとともに、独立行政法人中小企業基盤整備機構の機能を活用した九州初の地域特化型事業承継ファンドである「九州ブリッジファンド」への出資を行っております。

2. 中小企業に適した資金供給手法の徹底

事業価値を見極める能力の向上



行内塾

担保および個人保証に過度に依存することなく、お客さまの経営実態をよりきめ細かく把握したうえで、企業の存続性や成長性および将来性等を重視したご融資を行うよう取り組んでおります。また、お客さまの事業価値を適切に見極めることのできる行員を育成するために、先輩から後輩に知識や経験を伝承する「行内塾」をはじめとした多面的な研修等を行い「目利き能力」の向上に努めております。

ことのできる行員を育成するために、先輩から後輩に知識や経験を伝承する「行内塾」をはじめとした多面的な研修等を行い「目利き能力」の向上に努めております。

3. 持続可能な地域経済への貢献

(1) 商談会の開催



伊藤忠食品 試食・試飲商談会

地元企業のビジネス機会の拡大等を支援し、各地域における経済の活性化を目的に、九州の各地銀や地方公共団体と共同で、さまざまな商談会を開催しております。

(2) 各種無料相談会の開催

お客さまのさまざまなニーズやご相談にお応えするために、「法律相談会」「年金相談会」「経営相談会」を定期的に開催しており、それぞれご好評をいただいております。また、九州経済産業局が中心となり運営している「中小企業支援ネットワーク強化事業」の支援機関として、専門家による無料相談を活用し、お取引先企業の経営課題の解決支援を行っております。



地域への各種支援活動の状況

当行は、銀行業務を通じた地域経済への貢献のほか、地域社会の一員として地域の発展を願い、さまざまな社会貢献活動を積極的に展開しております。

1. 青少年スポーツ活動の支援



第20回 ちくぎん杯少年サッカー大会

青少年の健全な育成を願って「ちくぎん杯少年サッカー大会」を平成5年より毎年開催しております。大会は年々充実度を増しており、平成24年度の第20回大会には福岡県内各地から、32チーム（小学生約600名）が出場し、2日間にわたる熱戦を繰り広げました。

2. 各種講演会の開催



「中小企業のための当世上海事情」講演

地域の皆さまへの情報サービスの場として、当行グループのちくぎん地域経済研究所(株)との共催で、「中小企業のための当世上海事情」講演、「九州経済白書説明会」等を開催しております。今後も経済動向、世界情勢などタイムリーで興味深い情報を提供してまいります。

3. 地域行事への積極参加

地域社会の一員として「水の祭典・くるめ祭り」や「博多どんたく港まつり」など地域のさまざまなイベントに役職員が積極的に参加しており、地域の皆さまとのふれあいを大切にしております。(P13参照)



水の祭典・くるめ祭り



博多どんたく港まつり「どんたく広場パレード」

4. 環境保全・美化活動

(1) 全行員一斉「地域貢献活動」の実施

当行の創立50周年を機に、平成14年10月より当行の基本理念である「地域社会へのご奉仕」を実践するために、全行員による店舗周辺の道路や公園などのボランティア清掃活動を行っております。この活動が評価され、平成23年度福岡県道路功労者表彰（県知事表彰）を受章しました。



福岡県より表彰

(2) 地域の美化運動への積極参加

地域環境の美化のために、「都心部道路美化キャンペーン」「筑後川河川敷美化ノーポイ運動」などの地域の美化運動に役職員が積極的に参加し、地域と一体となった活動を続けております。

5. 地域復興支援活動

7月に発生した九州北部豪雨は、地域の皆さまに甚大な被害をもたらしました。“ちくぎん”は被災地へ復興活動のボランティア派遣を行うなど、被災地復興へのさまざまな取り組みを行っております。

- ・被災されたお客さまへの災害特別融資の実施
- ・災害義援金募金箱の窓口設置
- ・被災地復興活動へのボランティア派遣
- ・「九州北部豪雨復興支援定期預金」の発売



被災地で復興活動を行うボランティア行員

6. 「小さな親切運動」の推進

くるめ「小さな親切」運動の会を、昭和58年7月の同会の発足以来、支援しております。全役職員が会員となり環境保全や美化運動、イベントなどに積極的に参加するとともに、平成5年からは当行内に事務局を設置し明るく住みよい街づくりの推進に取り組んでおります。

法人のお客さま

資金ニーズにお応えする充実した融資商品

地元企業や個人事業主の皆さまの資金ニーズに積極的にお応えするため、さまざまな商品を取りそろえております。

(平成24年9月30日現在)

種 類	ご融資金額	ご返済期間	特 色	担保等
事業者カードローン	1,000万円以内	2年（自動更新）	限度内で繰り返し利用できます。	保証協会
ビジネスローン	5,000万円以内	3年以内	法人または個人事業主の方が対象となります。	原則不要
アグリビジネスローン(CDS)	5,000万円以内	7年以内	農業経営に必要な資金にご利用いただけます。	原則不要
クイックローン	5,000万円以内	1年以内	スピード回答、無担保でご融資、事業性資金にご利用いただけます。	不要



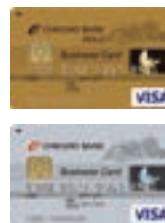
インターネットバンキング (ちくぎんビジネスWeb)

オフィスにいながら残高照会や振込みなどがご利用いただけます。



ちくぎんビジネスカード

各種の経費のお支払いにご利用でき、経費管理や事務の省力化を図ることができます。出張時の交通費や宿泊費のお支払い、ETCカードのご利用、携帯電話・プロバイダーへのお支払い等幅広くご利用いただけます。



ご相談サービス

「金融のホームドクター」を目指している当行は、各種相談会の開催、住宅ローンプラザ等の充実に努めております。

(平成24年9月30日現在)

種 類	ご 相 談 サ ー ビ ス の 内 容
ちくぎん 経営相談会	経営改善、経営革新などに前向きに取り組んでおられる経営者の方々の事業の発展、成長を支援するために中小企業診断士が経営の診断助言を行います。 (お問合せ：お近くの本店・各支店)
ちくぎん 法律相談会	地域に密着した金融機関のサービスの一環として、無料の「法律相談会」を開催いたしております。専門の弁護士がわかりやすくていねいにお答えします。 (お問合せ：お近くの本店・各支店)
ちくぎん 年金相談会	毎月第3水曜日に本店営業部で「年金相談会」を開催いたしております。年金に関するさまざまなご相談を社会保険労務士がわかりやすくご説明いたします。 (お問合せ：お近くの本店・各支店)
ちくぎん テレホンセンター	フリーダイヤルによるローンの仮申込、ご相談を受付けております。また、定期預金の満期のご案内も行っております。受付時間は午前9時から午後8時までです。(土・日・祝日は除きます。) ☎ 0120-86-7980
ちくぎん 住宅ローンプラザ	本店1階住宅ローンプラザおよび千早支店住宅ローンコーナーでは、土日も住宅ローン、マイカーローンなどのご相談を承っております。(祝日・振替休日および国民の休日を除きます。)(お問合せTEL 本店1階住宅ローンプラザ0942-32-5369・千早支店092-663-5771)

個人のお客さま

ライフステージに合わせた各種ローン商品

個人のお客さまのより豊かで充実した明日のために、ライフステージに合わせた各種ローンを取りそろえております。 (平成24年9月30日現在)

	種 類	ご融資金額	ご返済期間	特 色
 カードローン	ミニカードローン	50万円以内	3年 (自動更新)	極度額の範囲内で自由にお借入れができます。
	エクセルカードローン	500万円以内	1年 (自動更新)	極度額の範囲内で自由にお借入れができます。
 目的型ローン	NEWエクセルローン	500万円以内	10年以内	おつかいみち自由なローンです。借換にもご利用いただけます。
	マイカーローン	500万円以内	8年以内	車の購入や車検費用等のローンです。
	教育ローン	500万円以内	10年6か月以内	在学期間中は返済を据置できます。
	リフォームローン	500万円以内	10年以内	自宅のリフォーム資金にご利用いただけます。
	子育て支援ローン	50万円以内	5年以内	子育てに関する費用や育児休業中の生活資金にご利用いただけます。
 住宅ローン	住まいる住宅ローン	6,000万円以内	35年以内	変動金利型、固定金利選択型をお選びいただけます。 ※3大疾病保障特約付住宅ローンもお取扱いいたしております。

環境配慮型商品やサービス

当行は環境に配慮した商品やサービスを通して環境保護に貢献できる銀行を目指しております。

(平成24年9月30日現在)

商 品	内 容
マイカーローン・金利サービス	ハイブリッド車を購入の方を対象にローン金利を割引いたします。
リフォームローン・金利サービス	太陽光発電機を購入・設置される方を対象にローン金利を割引いたします。
住まいる住宅ローン・金利サービス	オール電化住宅やガスを使った省エネ住宅を対象にローン金利を割引いたします。

便利なインターネットサービス

インターネット・モバイル
バンキング (ちくぎんCnet)

パソコンまたは携帯電話から残高照会や振込みなどがご利用いただけます。



多機能な『ちくぎんマルチナカード』

ICキャッシュカードとクレジットカード機能が一体となった多機能カードです。付帯サービスとしてケータイクレジットiDやETCカードもご利用いただけます。



※各種商品・サービスの詳細につきましては窓口へお問合せください。

人民元建て外貨預金の取扱い開始

(平成24年10月)

今後、貿易決済や資金運用における“人民元建て”の取引拡大が予想されるなか、個人のお客さまにも対応した「中国人民元建て外貨預金」の取扱いを平成24年10月9日（火）より開始いたしました。これにより、人民元のほか米ドル、ユーロ、豪ドル建ての外貨預金の取扱いができるようになりました。当行は今後も、地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行として、お客さまのニーズに応え利便性の向上に努めてまいります。

海外進出企業に対するビジネスサポート

経済のグローバル化が進展するなかで、海外進出するお客さまをサポートするため、平成24年5月に「日本興亜損害保険株式会社」、6月に「日本通運株式会社福岡支店」、また、7月には「あいおいニッセイ同和損害保険株式会社」と業務提携を結んでおります。お客さまには、海外進出に伴うリスク管理やノウハウの提供など、さまざまなサービスを展開してまいります。

「東京支店」の開設

(平成25年3月オープン)

東京に進出されているお取引先への利便性の提供、ネットワークの拡充や視野の広い行員の育成などを目的として、平成25年3月に「東京支店」を開設し、東京事務所は同支店に移転・併設いたします。九州以外では初の営業拠点となり、当行の店舗数は44か店となります。当行は、今後とも、地域金融機関として地元を重視した営業を展開するとともに、ネットワークの拡大により、お客さまの利便性向上に努めてまいります。

- ・店舗名 東京支店
- ・開設場所 東京都中央区日本橋本町3丁目
- ・開設日 平成25年3月8日（金）

「筑邦銀行経営内容説明会」の開催

(平成24年7月～8月)



当行は平成14年より毎年お取引先・株主の皆さまなどを対象にIR活動の一環として「筑邦銀行経営内容説明会」を開催いたしております。本年は当行が12月に創立60周年を迎えるにあたり、お客さまへの感謝会をかねて、各地区5

会場で開催いたしました。説明会には、頭取はじめ役員役員が出席し、過去最高の延べ865名のお客さまにご参加いただきました。

創立60周年と記念事業の実施

当行はお客さま、株主、地域社会の皆さまの永年に亘るご支援により、本年12月23日（日）に創立60周年、来年2月20日（水）に開業60周年を迎えます。これもひとえに、皆さまからの永年に亘る、あたたかいご支援・ご愛顧の賜物と、役員一同、心より感謝申し上げます。ご愛顧いただいております皆さまへの感謝の気持ちを込めて、さまざまな創立60周年事業を展開してまいります。当行は今後も地域の皆さまのニーズにお応えできるようサービスの向上に努めてまいります。

- 活動期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日
- キャッチフレーズ ちくざん創立60周年! 「60+これから」
- 主な記念事業

☆ お客さま感謝祭（60周年記念商品の取扱い）

・定期預金金利上乘せキャンペーン

(平成24年4月～9月)

・投資信託購入でギフト券プレゼント

(平成24年4月～平成25年3月)

・住宅ローン・NEWエクセルローン 特別金利適用

(平成24年10月～平成25年3月)

☆ 60周年記念誌の発行

☆ 環境・地域美化への取り組み

☆ 献血活動の実施



60周年の「60」の文字に「当行のロゴマーク」を取り入れ「さらなる未来へ進むスピード感」を表現した、上記のロゴマークを年度を通じて使用いたします。

「博多どんたく港まつり」に初参加

(平成24年5月)

本年5月3日（木）に開催された、博多どんたく港まつり「どんたく広場パレード」に初めて参加し、約1.27kmを「久留米そろばん踊り」を披露しながらパレードいたしました。



博多どんたく港まつり「どんたく広場パレード」

視覚障がいまたはその他の障がいをお持ちでATMでの振込が困難なお客さまに対する窓口受付の振込手数料引下げについて

視覚障がいまたはその他の障がいをお持ちのお客さまが、ATM振込が困難なため窓口で振込を行う場合の振込手数料を、ATMでの振込手数料と同額でお取扱いいたしております。

(平成22年12月1日より)

東日本大震災被災者の方に対する義援金について

平成24年7月24日をもって募金箱の設置を終了し、同日現在で累計2,464,484円の義援金を中央共同募金会に寄付させていただきました。

九州北部豪雨災害被災者の方に対する募金箱の設置について

この度の九州北部豪雨により被災された皆さまを支援するため、平成24年7月25日より当行の全店舗に募金箱を設置し義援金の受付をいたしております。

反社会的勢力との関係遮断に向けた取組み強化

当行は反社会的勢力との関係遮断に向けた取組み強化のため、平成22年4月1日に銀行取引約定書^(※1)、当座勘定規定、普通預金規定等の流動性預金規定および貸金庫規定に暴力団排除条項を導入し、平成22年10月1日に各種定期性預金規定についても暴力団排除条項を導入しました。

暴力団排除条項とは、借主や預金者等が暴力団等の反社会的勢力であることが判明した場合に、当行の判断で契約を解約させていただくことを定めた条項です。

改定後の新規定^(※2)は、改定前よりお取引いただいているお客さまに対しても適用されます。

この取扱は、政府が制定した「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」(平成19年6月19日 犯罪対策閣僚会議幹事会申合せ)、福岡県暴力団排除条例を踏まえたものです。

(※1) 銀行取引約定書は、平成22年4月1日以降、新規・変更契約を締結されたお客さまに対して暴力団排除条項が適用されます。

(※2) 当座勘定規定は、反社会的勢力の属性要件の明確化および免責・損害賠償規定の追加について、一部改正をいたしております。(平成24年2月13日より)

ATMでの1口座1日あたりのご利用限度額変更について

昨今振り込み詐欺や盗難・偽造キャッシュカードによる預金の不正引出し被害等が増加しております。これらの犯罪からお客さまをお守りするため、ATMでの1口座1日あたりのご利用限度額を平成23年10月17日(月)より100万円に変更いたしました。

キャッシュカード・通帳等の紛失・盗難のご連絡先

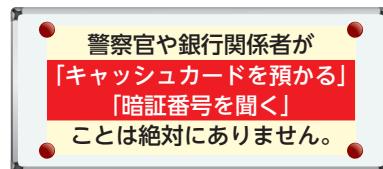
	受付時間帯	連絡先	連絡先電話番号
平日	8:45～17:00	お取引店またはお近くの筑邦銀行	「店舗・ATMのご案内」(裏表紙)をご覧ください。
	17:00～翌日8:45	ATMサービスセンター	0942-35-0037
土・日・祝	24時間受付		

⚠️ 振り込み詐欺にご注意ください!

電話や文書等で相手を騙し、お金を振り込ませる「振り込み詐欺」が多発しています。

ご家族等になりすまし、事件や交通事故の示談金等の名目で現金を騙し取る「オレオレ詐欺」、税務署や社会保険事務所等を装う「還付金詐欺」、そのほか「架空請求詐欺」、「融資保証金詐欺」など手口が巧妙化していますのでご注意ください。

- お振込みをする前に、もう一度ご家族等に確認してください。
- 税務署等の公的機関が電話によりATMの操作を指示し、還付を行うことはありません。
- 身に覚えの無い請求があった場合は、安易に振込みを行わないようにしてください。
- 融資を前提に「保証金」等を要求されたらご注意ください。
- 不審に思われるような場合には最寄りの消費生活センターにご相談ください。
- 万が一被害にあわれたら、至急、警察とお取引店にお届けください。



※「振り込み詐欺被害者救済法」の施行により、詐欺等犯罪に利用された口座を凍結し、残高が1,000円以上の場合は、被害額の割合に応じて被害者に返還できることになりました。

第89期中 中間連結貸借対照表 (単位: 百万円)

(平成24年9月30日現在)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	9,744	預金	600,112
コールローン及び買入手形	55,800	譲渡性預金	4,567
買入金銭債権	300	コールマネー及び売渡手形	15,000
商品有価証券	146	借入金	8,845
有価証券	180,452	その他負債	5,621
貸出金	386,700	退職給付引当金	1,675
外国為替	737	役員退職慰労引当金	30
リース債権及びリース投資資産	6,823	偶発損失引当金	149
その他資産	17,371	再評価に係る繰延税金負債	1,413
有形固定資産	10,530	支払承諾	8,393
無形固定資産	1,332	負債の部合計	645,809
繰延税金資産	2,806	(純資産の部)	
支払承諾見返	8,393	資本金	8,000
貸倒引当金	△4,125	資本剰余金	5,759
		利益剰余金	11,765
		自己株式	△76
		株主資本合計	25,447
		その他有価証券評価差額金	848
		土地再評価差額金	2,116
		その他の包括利益累計額合計	2,964
		新株予約権	72
		少数株主持分	2,721
		純資産の部合計	31,206
資産の部合計	677,016	負債及び純資産の部合計	677,016

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第89期中 中間連結損益計算書 (単位: 百万円)

(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

科目	金額
経常収益	9,000
資金運用収益	4,865
うち貸出金利息	(3,952)
うち有価証券利息配当金	(794)
役員取引等収益	875
その他業務収益	3,194
その他経常収益	65
経常費用	8,531
資金調達費用	224
うち預金利息	(182)
役員取引等費用	309
その他業務費用	2,712
営業経費	4,753
その他経常費用	531
経常利益	468
特別損失	0
税金等調整前中間純利益	468
法人税、住民税及び事業税	42
法人税等調整額	130
法人税等合計	173
少数株主損益調整前中間純利益	294
少数株主利益	49
中間純利益	245

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第89期中 中間連結株主資本等変動計算書 (単位: 百万円)

(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

科目	金額	科目	金額	科目	金額	科目	金額
株主資本		自己株式		その他の包括利益累計額		新株予約権	
資本金		当期首残高	△ 81	その他有価証券評価差額金		当期首残高	35
当期首残高	8,000	当中間期変動額		当期首残高	1,512	当中間期変動額	
当中間期変動額		自己株式の取得	△ 1	当中間期変動額		株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	37
当中間期変動額合計	—	自己株式の処分	5	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△ 664	当中間期変動額合計	37
当中間期末残高	8,000	当中間期変動額合計	4	当中間期変動額合計	△ 664	当中間期末残高	72
資本剰余金		当中間期末残高	△ 76	当中間期末残高	848	少数株主持分	
当期首残高	5,759	株主資本合計		土地再評価差額金		当期首残高	2,676
当中間期変動額		当期首残高	25,355	当中間期変動額		当中間期変動額	
当中間期変動額合計	—	当中間期変動額		当中間期変動額合計	—	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	44
当中間期末残高	5,759	剰余金の配当	△ 155	当中間期末残高	2,116	当中間期変動額合計	44
利益剰余金		中間純利益	245	当中間期変動額合計	2,116	当中間期末残高	2,721
当期首残高	11,677	自己株式の取得	△ 1	その他の包括利益累計額合計		純資産合計	
当中間期変動額		自己株式の処分	3	当期首残高	3,629	当期首残高	31,697
剰余金の配当	△ 155	当中間期変動額合計	91	当中間期変動額		当中間期変動額	
中間純利益	245	当中間期末残高	25,447	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△ 664	剰余金の配当	△ 155
自己株式の処分	△ 2			当中間期変動額合計	△ 664	中間純利益	245
当中間期変動額合計	87			当中間期末残高	2,964	自己株式の取得	△ 1
当中間期末残高	11,765					自己株式の処分	3
						株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△ 582
						当中間期変動額合計	△ 490
						当中間期末残高	31,206

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第89期中 中間貸借対照表 (単位：百万円)

(平成24年9月30日現在)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	9,417	預金	600,525
コールローン	55,800	譲渡性預金	5,157
買入金銭債権	300	コールマネー	15,000
商品有価証券	146	借入金	2,570
有価証券	180,404	その他負債	5,140
貸出金	390,354	未払法人税等	34
外国為替	737	リース債務	664
その他資産	12,021	資産除去債務	65
その他の資産	12,021	その他の負債	4,375
有形固定資産	10,240	退職給付引当金	1,641
無形固定資産	1,293	偶発損失引当金	149
繰延税金資産	2,525	再評価に係る繰延税金負債	1,413
支払承諾見返	8,393	支払承諾	8,393
貸倒引当金	△3,431	負債の部合計	639,990
		(純資産の部)	
		資本金	8,000
		資本剰余金	5,759
		資本準備金	5,759
		利益剰余金	11,493
		利益準備金	2,724
		その他利益剰余金	8,769
		別途積立金	7,400
		繰越利益剰余金	1,369
		自己株式	△76
		株主資本合計	25,175
		その他有価証券評価差額金	848
		土地再評価差額金	2,116
		評価・換算差額等合計	2,964
		新株予約権	72
		純資産の部合計	28,213
資産の部合計	668,204	負債及び純資産の部合計	668,204

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第89期中 中間株主資本等変動計算書 (単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
株主資本		その他利益剰余金	
資本金		別途積立金	
当期首残高	8,000	当期首残高	7,400
当中間期変動額	—	当中間期変動額	—
当中間期末残高	8,000	当中間期末残高	7,400
資本剰余金		繰越利益剰余金	
資本準備金		当期首残高	1,294
当期首残高	5,759	当中間期変動額	—
当中間期変動額	—	剰余金の配当	△ 155
当中間期末残高	5,759	中間純利益	232
資本剰余金合計	—	自己株式の処分	△ 2
当期首残高	5,759	当中間期変動額合計	74
当中間期変動額	—	当中間期末残高	1,369
当中間期末残高	—	利益剰余金合計	
利益剰余金		当期首残高	11,418
利益準備金		当中間期変動額	—
当期首残高	2,724	剰余金の配当	△ 155
当中間期変動額	—	中間純利益	232
当中間期末残高	2,724	自己株式の処分	△ 2
		当中間期変動額合計	74
		当中間期末残高	11,418

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第89期中 中間損益計算書 (単位：百万円)

(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

科目	金額
経常収益	6,307
資金運用収益	4,786
(うち貸出金利息)	(3,971)
(うち有価証券利息配当金)	(794)
役員取引等収益	849
その他業務収益	615
その他経常収益	56
経常費用	5,945
資金調達費用	210
(うち預金利息)	(183)
役員取引等費用	339
その他業務費用	270
営業経費	4,620
その他経常費用	504
経常利益	362
特別損失	0
税引前中間純利益	361
法人税、住民税及び事業税	9
法人税等調整額	118
法人税等合計	128
中間純利益	232

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

科目	金額	科目	金額
自己株式		土地再評価差額金	
当期首残高	△ 81	当期首残高	2,116
当中間期変動額	—	当中間期変動額	—
自己株式の取得	△ 1	当中間期変動額合計	—
自己株式の処分	5	当中間期末残高	2,116
当中間期変動額合計	4	評価・換算差額等合計	
当中間期末残高	△ 76	当期首残高	3,628
株主資本合計		当中間期変動額	
当期首残高	25,097	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△ 663
当中間期変動額	—	当中間期変動額合計	△ 663
剰余金の配当	△ 155	当中間期末残高	2,964
中間純利益	232	新株予約権	
自己株式の取得	△ 1	当期首残高	35
自己株式の処分	3	当中間期変動額	—
当中間期変動額合計	78	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	37
当中間期末残高	25,175	当中間期変動額合計	37
評価・換算差額等		当中間期末残高	72
その他有価証券評価差額金		純資産合計	
当期首残高	1,512	当期首残高	28,761
当中間期変動額	—	当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△ 663	剰余金の配当	△ 155
当中間期変動額合計	△ 663	中間純利益	232
当中間期末残高	848	自己株式の取得	△ 1
		自己株式の処分	3
		株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△ 626
		当中間期変動額合計	△ 547
		当中間期末残高	28,213

役員氏名

(平成24年9月30日現在)

取締役会長	井手 和 英
取締役頭取 (代表取締役)	佐藤 清一郎
常務取締役	龍 憲 一
常務取締役	田中 靖 正
常務取締役	青木 正 明
常務取締役	東 暢 昭
取締役	石井 智 幸
取締役	中野 慎 介
常勤監査役	吉田 茂
監査役	豊島 安 治
監査役	上野 寛
監査役	薬師寺 道 明

(注) 監査役上野寛、薬師寺道明の両名は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

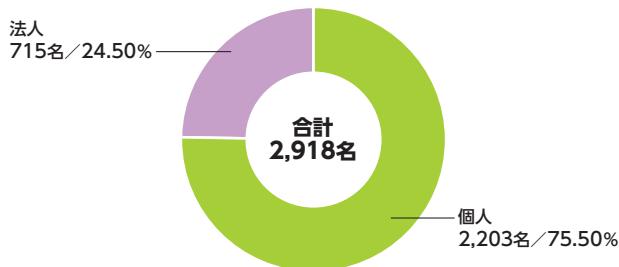
株式の状況

(平成24年9月30日現在)

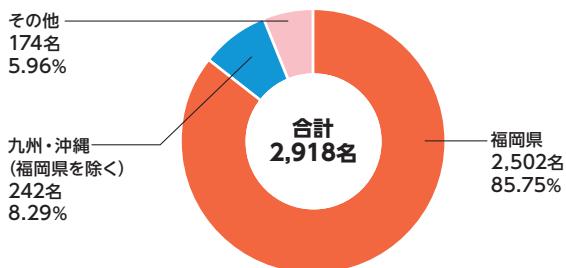
▶ 株式の所有数別分布表

区分	株主数 (名)	株主数 比率 (%)	株式数 (株)	株式数 比率 (%)
1,000,000株以上	12	0.41	19,096,207	30.56
500,000株以上	10	0.34	6,911,104	11.06
100,000株以上	62	2.13	13,495,358	21.60
50,000株以上	82	2.81	5,273,246	8.44
10,000株以上	696	23.85	12,675,587	20.28
5,000株以上	431	14.77	2,623,619	4.20
1,000株以上	1,070	36.67	2,213,722	3.54
1,000株未満	555	19.02	201,357	0.32
合 計	2,918	100.00	62,490,200	100.00

▶ 株式の所有者別分布状況



▶ 株主の地域別分布状況



- | | |
|--------------------------|--|
| 1.事業年度 | 毎年4月1日から翌年の3月31日まで |
| 2.期末配当金受領株主確定日 | 毎年3月31日 |
| 3.中間配当金受領株主確定日 | 毎年9月30日 |
| 4.定時株主総会 | 毎決算日後3か月以内に開催 |
| 5.株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 6.同 連 絡 先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料) |
| 7.上場証券取引所 | 証券会員制法人 福岡証券取引所 |
| 8.公 告 掲 載 紙 | 福岡市において発行する西日本新聞に掲載 |

(ご案内)

- 配当金のお受取りは、当行本支店の預金口座振込をご指定いただきますと、早くて便利です。
- 株主様の住所変更、買取請求、配当金受取の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【株式に関するお手続きについて】

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ● 特別口座から一般口座への振替請求 ● 単元未満株式の買取(買増)請求 ● 住所・氏名等のご変更 ● 特別口座の残高照会 ● 配当金の受領方法の指定(※) 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿 管理人	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 〈手続き書類のご請求方法〉 <ul style="list-style-type: none"> ● 音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ● インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/ </div>

(※) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
● 上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

店舗・ATMのご案内

平成24年9月30日現在

番号	店名	電話番号
1	本店営業部	0942-32-5331
2	中央町支店	0942-33-9116
3	国道通支店	0942-33-8471
4	日吉町支店	0942-32-5261
5	くしはら支店	0942-39-3691
6	荒木支店	0942-26-3161
7	国分支店	0942-21-7131
8	高良内支店	0942-43-2333
9	長門石支店	0942-38-5731
10	津福支店	0942-34-6511
11	上津支店	0942-21-4681
12	南町支店	0942-21-4311
13	十三部支店	0942-43-3911
14	東合川支店	0942-44-5500
15	大善寺支店	0942-26-8971
16	田主丸支店	0943-72-2171
17	鳥栖支店(佐賀県)	0942-83-2801
18	八女支店	0943-23-3141
19	筑後支店	0942-53-2188
20	瀬高支店	0944-62-2143
21	柳川支店	0944-72-2131
22	大川支店	0944-87-2134
23	大牟田支店	0944-52-5271

番号	店名	電話番号
24	福岡支店	092-521-1451
25	赤坂門支店	092-761-6404
26	博多支店	092-411-7231
27	雑餉隈支店	092-581-2831
28	西新町支店	092-821-3331
29	西島支店	092-661-2811
30	千早支店	092-663-5771
31	姪浜支店	092-891-7561
32	警弥郷支店	092-572-3911
33	中尾支店	092-561-2231
34	大野支店	092-591-3111
35	春日支店	092-501-1531
36	二日市支店	092-922-6661
37	北九州支店	093-531-3631
38	黒崎支店	093-621-0631
39	小郡支店	0942-73-3211
40	甘木支店	0946-22-3920
41	吉井支店	0943-75-2101
42	杷木支店	0946-62-1125
43	日田支店(大分県)	0973-24-3171



店舗外自動サービスコーナー(ATM)

入金できる設備

西鉄久留米駅出張所	久留米市役所出張所
西鉄久留米駅前出張所	あんくる夢市場久留米店出張所
一番街出張所	サザンモール出張所
久留米六角堂広場出張所	マックスバリュ北野店出張所
久留米大学病院1階出張所	山川出張所
久留米大学学部出張所	ミスターマックス北茂安店出張所
サンコー上津店出張所	ゆめタウン八女出張所
フレッシュ8上津店出張所	柳川市役所出張所
西鉄花畑駅出張所	西鉄福岡駅出張所
聖マリア病院出張所	明治屋太宰府店出張所
スーパーモリナガ津福店出張所	筑紫野市役所出張所
マックスバリュ榎原店出張所	ゆめタウン筑紫野出張所
スーパー大栄国分店出張所	小郡市役所出張所
ゆめタウン久留米出張所	D&D大刀洗店出張所
西鉄ストア宮ノ陣店出張所	朝倉市役所出張所
JR久留米駅出張所	イオン甘木店出張所
マックスバリュ大石町店出張所	ポートピアみやき出張所
久留米駐屯地出張所	

セブン銀行ATM 15,790か所 17,330台 (平成24年9月30日現在)

全国のセブン銀行のATMをご利用いただけます。

九州ATMネットワーク
提携金融機関10行のATM・CD 2,991か所 6,251台 (平成24年3月31日現在)



筑邦銀行、福岡銀行、西日本シティ銀行、佐賀銀行、十八銀行、親和銀行、肥後銀行、大分銀行、宮崎銀行、鹿児島銀行のキャッシュカードをご利用のお客さまは、10行のATM・CDからのお引出しが手数料無料でご利用いただけます。

無料でご利用いただける時間 平日8:45~18:00

※上記時間以外のご利用には、別途時間外手数料が必要となります。お振込みの場合、所定のお振込手数料が別途必要となります。

※ご利用時間およびサービス内容は設置場所によって異なります。

※詳細は営業店窓口へお問合せいただくか、または当行ホームページをご覧ください。

(<http://www.chikugin.co.jp/>)



あなたのまちの
筑邦銀行

筑邦銀行総合企画部広報室
〒830-0037 久留米市諏訪野町2456-1
TEL (0942) 32-5331 (代)



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

